

- ・応用物理学会放射線分科会医療放射線技術研究会
- ・多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン
（首都大学東京大学院人間健康科学研究科量子イメージング技術者養成コース）
- ・首都大学東京大学院人間健康科学研究科放射線科学域医学物理士コース

共催

機械学習・AI・ディープラーニング研究の多様性と医用への応用

概要

最近のディープラーニングの流行に代表されるように、機械学習・AI（人工知能）技術の発展は目覚ましく、医用応用への期待も近年非常に高まっています。特に、AI技術がゲノム科学や量子イメージング技術などと融合することで、個別化医療、つまり個人個人の状況に応じた医療の最適化が進むことが想像されます。そこで、本研究会の今回のテーマを「機械学習・AI・ディープラーニング研究の多様性と医用への応用」としまして、AI技術を応用した研究を行っている専門家の先生方に、機械学習の基礎を含め、ディープラーニングなどの技術の幅広い可能性、多様性のあるAI技術の応用研究についてご講演頂きます。

医療放射線技術研究会は放射線物理の医療応用について情報交換することを目的としています。臨床現場に携わる医師・診療放射線技師・医学物理士から計測技術の医療応用を目指している研究者まで広くご参加をお待ちしています。また、本研究会は首都大学東京「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン*との共催であり、本シンポジウムが専門医療人の人材育成の一助となることも期待しております。

参加希望の方につきましては、末尾のフォームを記入の上【11月16日まで】に量研機構放医研・田島（tashima.hideaki@qst.go.jp）までご連絡ください。

開催日：平成30年11月23日（金）

場所：首都大学東京荒川キャンパス 大視聴覚室

参加費：無料（懇親会は会費4,000円予定、当日現金を集めます）

定員：100名程度

備考：医学物理士認定機構の業績評価点の対象（コードF1,F2単位数3）として
出席証明書を発行いたします。認定番号: JBMP-2018-F-12

世話人：量研機構放医研 田島英朗（tashima.hideaki@qst.go.jp）、古場裕介、
首都大 眞正浄光、井上一雅、近畿大学 若林源一郎

*多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン連携大学
首都大学東京、東京大学、横浜市立大学、東邦大学、自治医科大学、北里大学

医療放射線技術研究会「機械学習・AI・ディープラーニング研究の多様性と医用への応用」

プログラム

- 13:00－13:25 受付
- 13:25－13:30 開会の辞 柳田 健之（奈良先端科学技術大学院大学）
- 13:30－14:30 多様性のためのホログラムテクノロジー
(講演 55 分 質疑 5 分)
講師：落合 陽一 先生（筑波大学）
- 14:30－15:30 画像処理における深層学習
(講演 55 分 質疑 5 分)
講師：庄野 逸 先生（電通大学）
- 15:30－15:45 休憩（15 分）
- 15:45－16:30 医用画像に深層学習をどう使うか
(講演 40 分 質疑 5 分)
講師：立花 泰彦 先生（量研放医研）
- 16:30－17:30 深層ニューラルネットワークの応用事例 ～CT 画像再構成ほか～
(講演 55 分 質疑 5 分)
講師：藤本 憲市 先生（香川大学）
- 17:30－17:35 閉会の辞 福士 政広（首都大学東京）
- 18:00－ 懇親会

=====

【参加申込フォーム】

氏名：

所属：

懇親会：参加・不参加（どちらか選択ください）

=====